

2022 年度事業報告書

【2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで】



チア!アート
CHEER!ART

トップメッセージ

医療や福祉の現場を人の生きる力を引き出せるような環境にしたい。

そんな思いから、2017年7月にチア・アートは、歩み出しました。

6期目である2022年度は、1) 医療施設等における環境改善事業として、ケアを取り巻く多様な場においてアート&デザインプロジェクトに取り組んだ一年でした。アート&デザインプロジェクトのアートコーディネートを担う筑波大学附属病院では、けやき棟開設10周年の企画展示やシンポジウム、筑波メディカルセンター病院では、緩和ケア病棟の家族控室の改修が実現しました。そして、チア・アートがアートワークのディレクションや内装の設計を担ったつくば公園前ファミリークリニックや医療相談所「はなそう -HANASOW-」が完成を迎え、新たに下妻特別支援学校の創立50周年記念事業のアートイベントの企画に取り組みました。2) 療養環境を支援する製品等の開発・販売事業では、医療的ケア児と家族のための繊維開発研究に参画、3) 医療施設等でのアート活動の啓発・普及事業では、引き続きチア！ゼミの実施や講演などを行いました。

これからも医療福祉施設、企業の方々、患者さんや利用者の皆さん、地域の方々と一緒に、医療や福祉におけるより良い環境のあり方について考え、アート・デザインの実践に取り組んで参りますので、継続的なお力添えを心よりお願い申し上げます。

2023年7月

特定非営利活動法人 チア・アート

理事長 岩田祐佳梨

1 事業の成果

2022年度は、6期目の活動を4月に開始させ、2022年6月9日に通常総会を行いました。事業として、(1) 医療施設等における環境改善事業、(2) 療養生活を支援する製品等の開発・販売事業、(3) 医療施設等でのアート活動の啓発・普及事業を行いました。主な取り組みを報告いたします。

2 事業の内容

(1) 医療施設等における環境改善事業

① 筑波大学附属病院アート&デザインプロジェクト アートコーディネート

筑波大学附属病院と筑波大学芸術分野との協働によるアートプロジェクトのコーディネート業務を行い、アート&デザインによる継続的な環境改善をマネジメントしました。2022年度は、1) メール審議とオンライン・対面形式で「病院のアートを育てる会議」を開催し、2) 作品展示(洋画、写真、立体造形、書など)の継続・更新、3) けやき棟開設10周年記念アートプロジェクトにおけるシンポジウムおよび企画展の開催、4) 病院ウェブサイト内にある病院アート&デザイン関連ページの更新、5) 小児の療養環境の支援ツール開発、6) 病院部局が主体で行う事業へのアート分野に関する協力・支援を行いました。

- 実施日時：2022年4月～2023年3月
- 事業主体：筑波大学附属病院(茨城県つくば市)
- 協働：病院のアートを育てる会議
(筑波大学附属病院、筑波大学芸術系教員、筑波大学 adp 学生チーム アスパラガス)
- アートコーディネート：筑波大学附属病院(アートコーディネーター 松崎仰生)、チア・アート(佐藤恵美、岩田祐佳梨)



けやき棟開設10周年記念アートプロジェクト「ボタニカルホスピタル けやきの森にあつまるいのち」企画展示『緑の廊下へようこそ』/制作・展示：筑波大学芸術系彫塑領域、コーディネート：松崎仰生、チア・アート(佐藤恵美、岩田祐佳梨)



けやき棟開設10周年記念アートプロジェクト「ボタニカルホスピタル けやきの森にあつまるいのち」シンポジウム『医療現場におけるアート&デザインの力』/コーディネート：松崎仰生、チア・アート(佐藤恵美、岩田祐佳梨)

② 筑波メディカルセンター病院アート&デザインプロジェクト アートコーディネート

病院と筑波大学芸術分野との協働によるアートプロジェクトのコーディネート業務を行い、アート・デザインによる継続的な環境改善をマネジメントしました。2022年度は、筑波大学とのアート活動の協働支援として、1) 緩和ケア病棟 家族控え室の改修におけるデザインマネジメントを行いました。クラウドファンディングによる支援を受け、学生チームが、小上がりのある部屋やソファのある空間をデザインし、殺風景で閉鎖的であった家族控え室が木に包み込まれるような居場所に生まれ変わりました。2) ICU 家族控え室の改修におけるデザインマネジメントを行いました。

- 実施期間：2022年4月～2023年3月
- 事業主体：筑波メディカルセンター病院（茨城県つくば市）
- 協働：筑波メディカルセンター広報課、広報委員会ほか、筑波大学芸術系教員、筑波大学 adp 学生チーム パブリカほか
- アートコーディネート：チア・アート（岩田祐佳梨、菅原楓、井本雅乃）



©Nao Takahashi

緩和ケア病棟家族控え室改修プロジェクト／デザイン：adp 学生チーム パブリカ、監修・マネジメント：貝島桃代、チア・アート（岩田祐佳梨・今村明日香・水畑日南子・菅原楓）、内装工事：池田建装株式会社、家具施工：草苺木工株式会社、芳名板施工：株式会社ヤグチアート



ICU 家族控え室改修プロジェクト／デザイン：adp 学生チーム パブリカ、監修・マネジメント：チア・アート（岩田祐佳梨・菅原楓、井本雅乃）

③ つくば公園前ファミリークリニック

アートワークディレクション、ソファベンチ設計

チア・アートが内装の基本構想、アートワークのディレクション（壁面、サイン）、ソファベンチの設計を担当した整形外科専門クリニックが2022年5月にオープンしました。壁面はサインや手描きの壁画によって彩られ、地域の子どもたちとの壁画制作ワークショップによって花や葉をイメージした模様加わり、柔らかな印象の空間に仕上がりました。

- 実施期間：2022年4月～5月
- 事業主体：つくば公園前ファミリークリニック（茨城県つくば市）
- デザイン・壁画制作：中村マリ
- 建築：三井ホーム
- 家具製作：八木沢木工
- アートワークディレクション、ソファベンチ設計：チア・アート（岩田祐佳梨、松崎仰生）



ソファスペース



廊下から受付をみる



壁画制作ワークショップ



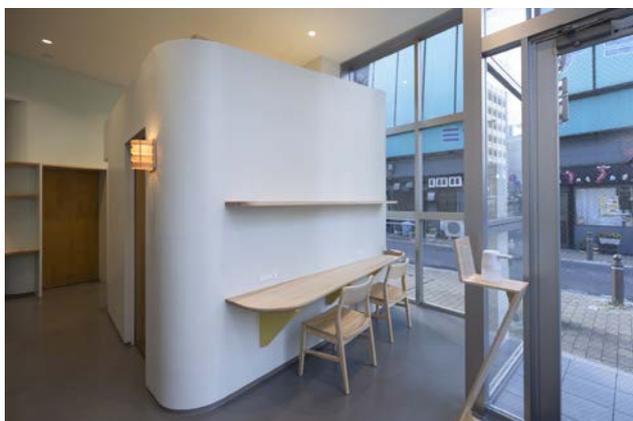
花や葉のスタンプで彩られた小上がりスペース

④ なんでも相談できる医療相談所「はなそう－HANASOW－」

内装設計・アートディレクション

産業保健事務所として地域の法人を支える機能を持ちながら、医療をとりまくことや病院では話しにくいことなど、なんでも相談できる医療相談所の内装設計およびアートディレクションを担当しました。訪れる人を迎えながらも、まちの喧騒から距離をとって、逃げ込めるような場を目指し、執務場所、相談やカウンセリングができる静かな部屋、小上がりのある部屋、本棚などを組み合わせることで、まちのなかにさらにまちや路地があるような奥行きのある空間をデザインしました。今後も、アートイベントの実施など継続的なアートコーディネートに関わっていく予定です。

- 実施期間：2022年3月～2023年3月
- 施主：合同会社メビウスメディカル（茨城県水戸市）
- 製作・施工：八木沢木工
- 内装設計・アートディレクション：チア・アート（岩田祐佳梨）



人々を迎えるカウンター机



執務エリアから見た天窗部屋



天窗部屋



執務エリアと小上がり部屋



お披露目イベントの様子

⑤ 茨城県立下妻特別支援学校創立 50 周年記念事業 アートイベント企画

肢体不自由の児童生徒（小・中・高等学部）が在籍する茨城県立下妻特別支援学校（以下、支援学校）の 50 周年記念事業の一環として、支援学校と地域の学校の児童生徒がチームとなって一つの作品を作り上げるアートイベントを企画しました。1 枚の大きな布にさまざまなペイントアイテムを使って絵を描く活動で、楽しみながら互いの理解を深め、多様性や共に生きることについて考える機会の創出を目的としています。また、イベント時には、各チームの進行やサポートを担うボランティアを募集し、さまざまな年齢や立場の人々が、共に実践し、考え、議論するきっかけを生み出します。2023 年 6 月にイベント開催、10 月に作品展示を予定しています。

- 実施期間：2022 年 7 月～
- 主催：茨城県立下妻特別支援学校 創立 50 周年記念事業実行委員会（茨城県下妻市）
- 企画：チア・アート（岩田祐佳梨、松崎仰生）



下妻特別支援学校の教員や生徒を交えた試作会



試作会のなかで生まれた作品

(2) 療養生活を支援する製品等の開発・販売事業

① 医療的ケア児と家族のための繊維製品開発における研究指導助言、

ヒアリング・リサーチのコーディネーション

医療的ケア児をはじめ誰もが使いやすいタオルの開発を目指す丸眞株式会社と tona（河東梨香）との共同開発に参画し、医療的ケア児の家族を対象としたウェブアンケート等への指導助言、リードユーザーを交えた座談会や医療的ケアを必要とする方々の生活の場をリサーチするためのコーディネート、医療的ケアを必要とする方々の生活や療養の場をリサーチするためのコーディネートを行いました。

- 実施期間：2022年2月～2023年3月
- 事業主体：丸眞株式会社
- アートディレクター：tona（河東梨香）
- 協力：オレンジキッズケアラボ
- インクルーシブデザインアドバイス：チア・アート（岩田祐佳梨、松崎仰生）



4名のリードユーザーとの座談会



(3) 医療施設等でのアート活動の啓発・普及事業

① 医療とアートを考える勉強会「チア！ゼミ」

チア！ゼミは、医療福祉従事者、クリエイター、地域の人々、患者さんやその家族、学生などさまざまな背景をもつ人たちが集まり、参加者同士の対話によって、医療や福祉におけるアート・デザインの考えを深める勉強会です。実践者や当事者の方に話題提供していただいた後、参加者同士で対話しながら、異なる視点や考えを共有します。今年度は、つくば公園前ファミリークリニック院長の中川将吾さんに「こどもたちが『〇〇したくなる』医療環境のデザイン」についてお話していただきました。

- 実施日：2022年11月27日
- 場所：つくば公園前ファミリークリニック（会員限定）、オンライン
- 参加者：医療従事者、学生、アート関係者、地域住民など10名
- 協力：つくば公園前ファミリークリニック、オオニン体育



【第10回チア！ゼミ「こどもたちが『〇〇したくなる』医療環境のデザイン」2022年11月27日】

話題提供者：中川将吾氏（つくば公園前ファミリークリニック院長）

② その他、講演など

筑波大学エクステンションプログラム、芸術工学会、関東農村医学会、医療マネジメント学会、MedicalPLAY セミナー、福祉とアートのシンポジウム、横浜こどもホスピスプロジェクト、なごやヘルスケアサミット、実践色彩講座にて講演を行いました。また、以下のメディアに活動内容が掲載されました。

講演

- 1) 岩田祐佳梨：第1回協働による医療環境のデザイン, 筑波大学エクステンションプログラム デザインでこれからの医療の未来を描く, 2022.5.15 (<https://extension.sec.tsukuba.ac.jp/archives/lecture-list/2245>)
- 2) 岩田祐佳梨：医療とアートをつなぐ病院のアートコーディネーター, 2022年度春期大会 シンポジウム 医療福祉が求めるアートヘルスケアアートの展望, 芸術工学会, 2022.6.11 (<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sda/media/healthcare611.pdf>)
- 3) 岩田祐佳梨：アートとデザインで生きる力を引き出す医療環境を目指す, 第80回関東農村医学会学術総会 未来志向の地域医療, 関東農村医学会, 2022.9.10
- 4) 岩田祐佳梨：病院のアートコーディネーターの役割と医療環境づくりの展望, 日本医療マネジメント学会第20回九州・山口連合大会ランチョンセミナー, 日本医療マネジメント学会, 2022.11.4 (<http://www.congre.co.jp/jhmqy20/html/nitteihyo-program/>)
- 5) 岩田祐佳梨：医療者と患者をつなぐアートとデザイン, 第2回 MedicalPLAY セミナー 意思決定に寄り添う -Shared Decision Making-, MedicalPLAY, 2022.12.8
- 6) 岩田祐佳梨：第2回福祉とアートのシンポジウム いばらきでいま起きている, いばらき障害者芸術文化活動支援センター(準備室), 2022.12.10
- 7) 岩田祐佳梨：第2回病児と遊びの研究会 2023 医療(病院・ケア)とアートの世界をのぞいてみよう, 横浜こどもホスピスプロジェクト, 2023.2.11 (https://childrenshospice.yokohama/user/news/224/b_2q-bd4ed_9fb2gcqvdo28ucrq7puk0.pdf)
- 8) 岩田祐佳梨：ヘルスケアアート全国サミット 2023 これからのヘルスケアアートを考える, なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクト, 2023.2.23 (<https://healthcare-art.net/summit2023/>)
- 9) 岩田祐佳梨：医療環境でのアート&デザイン, 実践色彩講座 2023 デザイン, アート, 美術のなかの色彩, 日本色彩学会関西支部, 2023.3.26

メディア

- 1) 試行錯誤から生まれる病院の Art&Design を解く。—筑波メディカルセンター病院インタビュー, HCD-HUB, 2022.06.02 (<https://www.hcd-hub.jp/magazine/interview/4483>)
- 2) コーディネーターの価値が認知定着する未来に向けて。—筑波メディカルセンター病院が歩んだ Art&Design 15年間の軌跡—, HCD-HUB, 2022.06.03 (<https://www.hcd-hub.jp/magazine/interview/4488>)
- 3) 筑波メディカルセンター病院 緩和ケア家族控室 募った改装資金で改修, 茨城放送 (Lucky FM ラジオ局), 2022.8.23
- 4) 茨城・筑波メディカルセンター 家族控室に癒やし 緩和ケア病棟 CF 活用し改修, 茨城新聞, 2022.8.30
- 5) 病院のアートコーディネーターの役割と医療環境づくりの展望, 日本医療マネジメント学会第20回九州・山口連合大会ランチョンセミナー, HCD-HUB, 2022.11.22 (<https://www.hcd-hub.jp/magazine/4723>)
- 6) 岩田祐佳梨：第5回 医療の場でともにつくること, アート × 福祉～ひろがるアート, ネット TAM, 2023.1.19 (<https://www.nettam.jp/column/art-welfare/5/>)

受賞

- 1) 緩和ケア病棟家族控室デザインプロジェクト：いばらきデザインセレクション 2022「ソーシャルデザイン部門」シリーズ選定
- 2) #病院にアートを | 茨城県産ヒノキに囲まれた家族控室が、緩和ケア病棟内に誕生：プレスリリースアワード 2022 ヒューマン賞

チア・アートへのご支援 ありがとうございます

(2022年4月1日～2023年3月31日決算)

収益	(単位千円)
会費	385
寄付	2,500
補助金	0
事業収益	9,494
合計	12,379

支出	(単位千円)
事業費	3,263
管理費	4,619
合計	7,882

2022年度 特定非営利活動法人チア・アート 役員

理事長 岩田 祐佳梨 / 筑波大学芸術系 非常勤講師・研究員、日本工業大学生活環境デザイン学科 非常勤講師

副理事長 貝島 桃代 / スイス連邦工科大学チューリッヒ校 教授

理事 原 晃 / 筑波大学附属病院 病院長

河野 元嗣 / 筑波メディカルセンター病院 病院長

蓮見 孝 / 筑波大学名誉教授

野中 勝利 / 筑波大学芸術系長 教授

小山 慎一 / 筑波大学芸術系 教授

白川 洋子 / 茨城県看護協会 会長

監事 山中 敏正 / 筑波大学芸術系 教授